

みんなで育てるこども夢プラン(案)に関する県民意見募集の結果

みんなで育てるこども夢プラン(案)に関する県民意見募集にご協力いただき、ありがとうございました。  
寄せられた御意見の内容及びご意見に対する県の考え方は次のとおりです。

1 意見募集の期間及び結果

期 間	平成22年2月17日(水)～平成22年3月5日(金)
意見をいただいた方	4人

2 意見の内容と県の考え方

	寄せられた意見の内容	意見に対する県の考え方
「みんなでこどもと子育てを応援」関係	<p>○ おむつがえシートなどの助成 小さな子供と外出すると一番困るのが「おむつ」です。大きな施設だとシートの場所が示してあって大変助かるのですが、そうでないところは非常に困ります。助成制度をつくり、子連れで外出しやすい環境にしていただければとても助かります。</p> <p>○ 広島版リアルユザキカフェ 子育て世代の親とのミーティング。できれば子供の世代ごとに分ければさまざまな意見が聞くことができます。小さい子は託児付きにする(できれば、知事が子供たちの様子が見えるようにすると思います) 内容は毎月の広報誌やHPで公開することによって透明性をはかる。</p> <p>○ 広島県公認子育てサイトの強化 ひろしま夢財団のHPの強化 ママ友募集やちょっとした相談の掲示板などを設置し、聞きやすい環境にする。場合によっては先輩ママがサポートになって相談にのることができるようにする。</p> <p>○ 現場の母親の声をもっと拾う機会を作られては？</p> <p>○ 専業主婦には、働くスキルとモチベーションを維持できる場があればいいと思います。(託児がないと無理でしょうが)</p>	<p>○ 第2章第1節における「親子で出かけやすい環境づくり」において、こども未来づくり・ひろしま応援隊が「子育て応援イクちゃんサービス」により、おむつ替えシートの設置など赤ちゃんのおむつ替え、授乳ができる「イクちゃんベビールーム」の設置を進めています。また、市町においては、広島県に設置した安心こども基金を活用して、おむつ替えや授乳ができるスペースの整備が進んでいます。</p> <p>○ 子育て真っ最中の父母を始めとした保護者の皆様の意見については、こども未来づくり・ひろしま応援隊による保護者の皆様との意見交換会や(財)ひろしまこども夢財団のKids情報送信サービスの携帯メールによる意見募集を充実させていきます。</p> <p>また、県知事が県民の方々と直接対話を行う県政知事懇談「湯崎英彦の宝さがし」において、子育て当事者の御意見をお伺いいたします。</p> <p>また、保護者の皆様からの要望の強いシンポジウム・研修会に付設する託児サービスについては、県主催事業等への付設を進めており、広く普及するよう努めます。</p>
「子育て家庭をきめ細かくサポート」関係 ○ 保育サービスの充実	<p>○ 就職のタイミングに合わせて、いつでも入所できるようにしてほしい。</p> <p>○ 働きたくても働けない待機児童をかかえている親のために小学校の空いている教室は利用できないのでしょうか？</p>	<p>保育所の待機児童対策としては、緊急待機児童対策を推進するために設置した安心こども基金により、市町と連携して、保育所整備を推進します。</p> <p>この安心こども基金では、地域の余裕スペースを活用した保育所の分園設置も対象としおり、市町に対し基金の活用を働きかけます。</p>
「子育て家庭をきめ細かくサポート」関係 ○ 男女がともに働きやすい職場環境の整備	<p>○ 一番の理想は、働く時間を自分で決められることでしょうね。選べる社会の方がいいです。</p> <p>○ 父親は、特に勤め先の理解によって、休暇を取れる、取れないがハッキリ差が出ます。育児は一緒に遊ぶだけではなく、学校行事も参加しやすい許される会社勤めになるといいですが、利益を求め企業に、父親を家庭に帰すメリットを作らないと難しいように思います。</p>	<p>○ 企業における一般事業主行動計画の策定・実施の支援やセミナーの開催など通じて、短時間勤務、フレックスタイム、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げなどの制度の導入を促進することとしています。</p> <p>○ 平成22年度から、男性の育児休業等促進キャンペーンを通じて、男性が育児休業等を取得することによる企業のメリット(職場内で仕事の進め方を見直すきっかけになった、仕事を引き継いだ人の能力が高まった、優秀な人材の確保・定着や企業のイメージアップにつながった)を積極的に広報することとしています。また、男性従業員が1週間以上の育児休業等を取得した中小企業等に奨励金を支給することとしています。こうした取り組みにより、男性も子育てに参加できる働き方の実現を促進します。</p>
「子育て家庭をきめ細かくサポート」関係 ○ すべての子育て家庭への支援	<p>○ おじいちゃん・おばあちゃん世代との交流の場を設ける 昔の遊びなど、いい伝統を受け継ぐために交流することが大切だと感じていますし、子育ての先輩としての意見を聞きたいのです。 最近設置されている「子育て支援センター」でできると思います。</p>	<p>○ 高齢者の方々に、長年培ってこられた知識や技能、経験を活かし、地域で活躍していただくことが、ご本人の生きがいのもとより、地域の活性化のためにも重要と考え、そのための環境づくりに努めています。</p> <p>地域子育て支援センターでは、子育て支援活動と高齢者の活動とのコーディネートは可能であり、地域の実情に沿った世代間交流の実施について、働きかけてまいります。</p>
「次代を担うこどもの成長を支援」関係 ○ 「知・徳・体」のバランスのとれたこどもの育成	<p>○ 地域との関わり、子ども同士のコミュニケーションづくり、また基礎体力づくりにも必要なものとして、子どもたちが安心して遊べる場所の確保が必要不可欠だと思います。</p> <p>大人が与えた場所、作った行事に子どもが参加するのではなく、子どもたちが自らの意思で行動し、自らの考えで遊べる場所が必要です。</p> <p>あそこに行けば、誰かと遊べるという環境があれば、子どもは外へ出ようという気になる。親も、学校から帰った子ども、あそこで遊んでいるはず、という環境があれば安心できます。</p> <p>行き場がないゆえに、家でゲームやTVを見たりする子が増え、親は一旦子どもが外に出ると、どこを探していいかわからないから出したがらないという環境が多く存在するのが現実なのではないでしょうか。</p> <p>公園の土地が確保できないという状況があれば、各地域にある公民館やその駐車場などのあり方を見直すのも一つの方法だと思います。</p>	<p>○ 子どもが安心して自由に遊べる場所の確保については、公園の整備のほか公共施設の用途の見直し、地域の遊休地の活用等、行政と地域が連携した取り組みができるよう努めます。</p>